

# インターンシップ・社会人基礎力自己点検シート

記入日： 年 月 日

インターンシップ前にあなたの社会人基礎力、強みと課題を自己点検してください。ここで作成した内容を基に「インターンシップ・目標設定シート」を作成してください。またインターンシップ終了後「インターンシップ・振り返りシート」を作成する際にも、その時点の自己点検を行って比較してみてください。

## ○学生・インターンシップ情報

学生氏名	
大学・学部・学科・学年	

## ○社会で活躍できる人材とは（仮説）

どのような能力をもち、どのような行動がとれる人が「社会で活躍できる人材」か、あなたの仮説を言葉にしてください。

課題に対して主体的に何をすべきかを考え、周りを巻き込みながらアイデアを出し合い、周囲の意見を取り入れながら、方向性を定めて前に進めていく力のある人材。

## ○自己点検（※該当を●、1 優れている、2 やや優れている、3 標準的、4 やや劣る、5 劣る）

能力評価		評価	自己評価の説明（評価の根拠となる行動事実）
前に踏み出す力	主体性	○1 ○2 ○3 ●4 ○5	私の強みは、主体的に何をやるべきかを考え、行動することです。インターンシップへの参加を決めたこともその一つです。興味のある業界に限らず、さまざまな業界の中から企業理念に着目し、「もっと知りたい」と思える企業を選んで応募しました。また、ひとりで考えることよりも多くの人の意見を取り入れて取り組むことで良い方法が見つかると考えており、周囲に働きかける力もあると思います。
	働きかけ力	○1 ○2 ○3 ○4 ●5	
	実行力	○1 ○2 ●3 ○4 ○5	
考え抜く力	課題発見力	○1 ○2 ●3 ○4 ○5	自分自身で課題を見つけ、計画を立てることはこのインターンシップの中で力をつけていきたい点です。実習のグループワークの課題に対して、自分に何が求められているかを把握し、限られた時間の中で優先順位を考えながら取り組んでいきたいと思っています。常識にとらわれない新しい発想を心がけて取り組むことが得意ではないので、身につけられるようにしていきたいです。
	計画力	○1 ●2 ○3 ○4 ○5	
	創造力	●1 ○2 ○3 ○4 ○5	
チームで働く力	発信力	●1 ○2 ○3 ○4 ○5	グループワークでは自分の意見をしっかりと持ち、発信すると同時に、チーム内のメンバーの方たちの意見にも耳を傾けるよう傾聴力を強化していきたいと思っています。プレゼンテーションに自信がないので、他の参加学生や会社の先輩の方々の伝え方を参考にし、力を培ってきたいと思っています。
	傾聴力	○1 ○2 ●3 ○4 ○5	
	柔軟性	○1 ○2 ●3 ○4 ○5	
	状況把握力	○1 ○2 ●3 ○4 ○5	
	規律性	○1 ○2 ○3 ●4 ○5	
	入社コンプライアンス力	○1 ○2 ●3 ○4 ○5	

※大学の教育方針・インターンシップの目的等により追加すべき評価項目があれば項目を追加してください。

○自分の強み・課題

強み／長所と考えられる点
自分で考えて実行する力がある 他人を巻き込む力がある
課題／今後努力を要すると考えられる点
・柔軟で新しい発想を持ちながら取り組むように心掛けるようにする ・プレゼンテーションが苦手なので、学びたい

<目標設定・評価の指針となる項目内容の説明>

向上させるべき能力(社会人基礎力)			
前に踏み出す力	・一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力 ・指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動する力	主体性	物事に進んで取り組む
		働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む
		実行力	目的を設定し確実に行動する
考え抜く力	・疑問を持ち、考え抜く力 ・自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする
		計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する
		創造力	新しい価値を生み出す
チームで働く力	・多様な人々とともに、目標に向けて協力する力 ・グループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々との繋がりや協働を生み出す力	発信力	自分の意見を分かりやすく伝える
		傾聴力	相手の意見を丁寧に聞く
		柔軟性	意見の違いや相手の立場を理解する
		状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する
		規律性	社会のルールや人との約束を守る
		ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する

※大学の教育方針・インターンシップの目的等により追加すべき評価項目があれば項目を追加してください。

※社会人基礎力

「社会人基礎力」は、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力として経済産業省が提唱している概念で、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力、およびこれらを構成する12の能力要素が示されています。職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上では、基礎学力や専門知識のみならず、それらを『発揮する』ためのコンピュータのOSに位置する能力・行動力を身につけていくことが必要です。このような力は、自らの成長目標に向かって意識して取組んでいき、また周囲からのフィードバックを受けていくことで、インターンシップ、ゼミ活動、正課授業等あらゆる学びの場を通じて成長させることができるものです。

